



関屋分水
通水50周年

川でつながる 未来につなげる

せきぶん 散策 MAP



トイレ



無料駐車場



東屋



水飲み場



ウォーターシャトル発着場



旧電鉄跡地遊歩道 「オレンジロード」

1933年～1999年の66年間、新潟市中央区から燕市までを結び、「電鉄」の愛称で親しまれていた新潟交通電車線。その跡地を活用した自転車歩行者専用道路（以下、遊歩道）の整備が平成19年度に着工し、平成24年度から一部供用開始していましたが、令和3年7月15日に全線開通しました。（全長6.3km）

【注意】

- ・運動の前には準備運動をしましょう。
- ・体力に合わせて無理をしないで歩きましょう。
- ・交通ルールやマナーを守りましょう。
- ・水分補給や防寒対策を忘れずに準備しましょう。

① 関屋分水資料館



大河津分水とともに越後平野の治水を支える二大分水路の「関屋分水」の事業経緯や機能・役割を模型や映像で分かりやすく紹介しています。

入館無料：休館日なし
4/1～10/31 9:00～19:00
11/1～3/31 9:00～16:30

注意）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入館制限を行う場合があります。

② 新潟大堰



信濃川から分岐して日本海へ至る関屋分水の開削に合わせて、流量調整および海水の遡上防止を目的として1971年（昭和46年）に竣工しました。

新潟大堰は日本海に流れ出る水の量を抑えて、信濃川に必要な水位を確保するとともに、洪水の氾濫から市街地を守っています。

③ 関分記念公園



北村一男（左）
横山太平（中）
柏原正雄（右）

関屋分水の建設に併せて整備された公園。

一角には当時新潟県知事であった北村一男、関屋分水構想を提唱し先駆的運動を行った「横山太平」と、これを受けて市民世論喚起と実現運動を展開した「柏原正雄」の功績を記した銅像が建立されています。

④ 競馬場跡の碑（関分公園）



競馬場移転の経緯を記した石碑

関屋分水路を通す事業用地は、そこに住んでおられた市民の土地提供への協力により確保することができました。土地を提供された市民の多くは分水路の隣接地に移り住まれ、もともとあったのが関屋競馬場です。

⑤ 競馬場踏切



現在でも、JR関屋駅 吉田方面の踏切に「競馬場踏切」という名の踏切が残っており、かつて競馬場があったことを物語っています。

昔は競馬町という地名も残っていましたが、町の統合でなくなってしまいました。
文京町には競馬場の跡が残る住宅立地が見られます。

⑥ 関屋堀割跡



関屋堀割の位置

明治44年（1911年）に新潟近郊の坂井輪地区の排水を良くするため、現在の関屋分水路のやや下流側に長さ約1.7kmの堀割がつけられました。

しかし、海からの砂によって河口が埋まり、すぐに効果がなくなったと言われています。

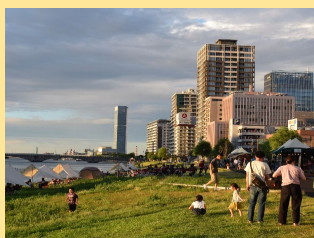
⑦ 花文字花壇（右岸）



有明小学校3年生児童、有明台地域コミュニティ協議会、有明台自治会、ありしょう応援隊、関屋モリ上げ隊など、地域の方たちと協力して、花文字花壇を製作しています。

マリーゴールドやベゴニアで「有明台へようこそ」と形取っています。

⑧ やすらぎ堤



新潟市による「遊歩道」や、「やすらぎ堤緑地」などの周辺の整備とも連携し、「水都新潟」のシンボリックな空間として整備を行っています。

⑨ 信濃川水門



出水時に信濃川水門を制御することで流量調整を行い、関屋分水路から洪水を流下させることで本川の流量を抑え、新潟市中心部の洪水被害防止に貢献しています。

工業用水や魚、船を通すため、信濃川に必要な水位を確保しています。

⑩ 花文字花壇（左岸）



毎年5月に青山小学校区コミュニティ協議会が『地域環境愛護の心と連帯感の醸成』を目的として、関屋分水路左岸で一斉清掃と花文字花壇づくり活動を行っています。

JR越後線の有明跨線橋から、花文字花壇をご覧頂くことができます。